

深志同窓会々報

題字 松中第10回卒文学博士
 中山久四郎兼
 発行所 松本市鶴ヶ崎3-8-1
 松本深志高等学校内
 深志同窓会
 発行人 花岡 堅而
 編集 会報委員会
 印刷 電報印刷株式会社

120周年人(夢)ふくらむ

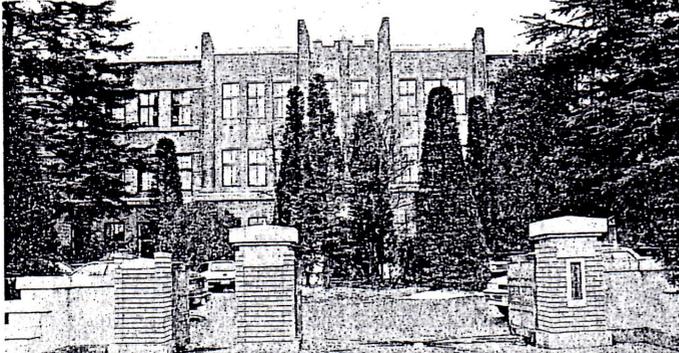
資料館や『続人物誌』

花岡会長「連帯と友情づくりを」

母校の百二十年が近づいてきました。あと四年。夢は大きく広がっています。同窓会の会員からは早くも記念事業として資料館づくりや『深志人物誌』第二編の刊行、芸術関係の催し、講演会の開催など具体的な提案が始められています。

松本深志高校は、明治九年(一八七六)の開校で、創立百二十年です。旧制松本中学、同校ルーツは筑摩県第七番定間中学、深志高校を合併した二万余の卒業生は、地中、高卒まで各界各層で活躍しています。

昭和五十年十月十三日に行なわれ、記念式典と祝賀会が盛大に開催されました。



校門も校舎も補修された母校は四年後、百二十年を迎えます。

中等教育資料さらに充実

降旗弥前同窓会長より創立百十年記念事業として取り上げられた「中等教育資料」収集の目標は一万点です。現在九千点を超えています。来年の同窓会総会には一万点を目標として報告できると手懸しています。

小林校長の最新資料三點内容について、一、報告書、二、新資料が三點収集され、今までの資料が三點に増え、合計六點に達しています。

収集、九千点を超える

小林有也校長の新資料も...

学校が唯一の中心校に改められ、二十年以前に建設された長野、上田等の中学校は本校の松本中学の支校として存在を保つことになり、この事情が支校時代の飯田、上田、長野等の資料の幅をひろげ、支校時代の板田、上田、長野等に手を伸ばしました。例えば上田中学の草創編には「この時校長小林有也は、郡立中学校より本校に生徒を多数移しました。

久保存を記念事業の重要な柱の一つに据え、興への勵まされたい。第一、この資料館の開設、芸術関係の催し、同窓生を迎えるための講演会などの記念事業が話題に上りつつあり、今後具体化への検討と組織づくりが行なわれることになり。昨年、病に倒れた花岡同窓会長も奇跡的に回復し、「母校の百二十年を飾り、同窓生の連帯と友情づくりに大きな役割を果たした」として、同窓生各生位の理解と協力を「お願いしたい」と呼びかけています。

松原温三は評議員で、幹事役にあたり、この時校長小林有也は、郡立中学校より本校に生徒を多数移しました。

松原温三は評議員で、幹事役にあたり、この時校長小林有也は、郡立中学校より本校に生徒を多数移しました。

